

支援の手だてリスト(具体例)

| | | ① ことばを見つけよう | |
|---|----------------|--|--|
| | | 語を視覚的なまとまりとして素早く認識できる力 | |
| | | 全体への支援 | より個別的な支援(教材の工夫など) |
| 4 | 指示の出し方 | 7) ・読めなくなったら言葉をフォローし、最後まで読むことができるようにする ・時間がかかってもせかささない 8) ・一人に長い文章を読ませるのではなく、短い文章をたくさんの児童生徒に読ませる | 7) ・児童生徒の読む力に応じて読ませる量を調整し、読むことへの苦手意識を軽減する ・読み誤りやすい語句を取り上げ、読み方の確認をする |
| 5 | 教材・教具 | 9) ・内容の理解を補助する具体物や絵などを活用する 10) ・語句の区切りが分かるよう線を入れる ・指でなぞりながら読ませたり、ものさしを当て行を変えたりして読みやすい工夫をする 11) ・ICT機器を活用し、文字の大きさや字体を変えて、読みやすい工夫をする | 10) ・1行だけ見えるように切り抜いた板目紙を活用する ・漢字に振り仮名を振る ・文字を拡大した教科書を使う ・範読CDを活用する |
| 6 | 板書の工夫 ノート指導 | 12) ・漢字の部首を色チョークで色分けする 13) ・枠や色チョーク、アンダーラインなどを活用し大事なところは強調する ・指示棒やレーザーポインタを使って注目させる ・コンピュータやプロジェクタを活用し、大事なところに注目しやすいように工夫する 14) ・マス目の黒板や小黒板を活用し、重要なポイントを取り出す 15) ・授業の流れが分かりやすい板書をする ・同じ教科では、ある程度パターン化した板書にする ・ノートを取るところを分かりやすく示す ・文字を大きくする ・1単位時間の内容が分かるように構造的に板書する 16) ・短い文で分かりやすく板書する | |